

「東京ベイエリアビジョン」（仮称） の検討に係る官民連携チーム

活力と躍動感のあるまちWG 第2回提案

平成31年3月

目次

- 第1回提案の概要
- 東京ベイエリアの独自性と提案の柱
- 提案内容
- エリアの空間イメージ

第1回提案の概要

【東京ベイエリア】

観光、交通アクセス、産業、空間利用の現状認識



エリアに賑わいをもたらすためのコンテンツを、
4つのカテゴリーに分類して提案

【提案内容】

- 1 何度でも訪れたいくなる
- 2 多様なライフスタイルを支える
- 3 シビックプライドを醸成する
- 4 未来への実験都市としての姿を描く

東京ベイエリアの独自性と提案の柱

■ 東京ベイエリアの独自性

水辺を有する



広大な
空間スケール



東京2020大会
競技施設のレガシー



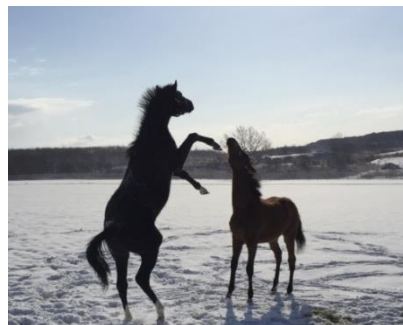
提供：オリンピック・パラリンピック準備局

■ WGで目指すまちの姿 … 「活力」と「躍動感」のあるまち



活力

活動のもとになる力、
エネルギー



躍動感

いきいきと活動
する様子

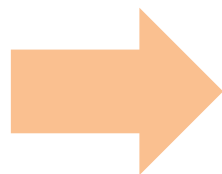
東京ベイエリアの独自性と提案の柱

独自性

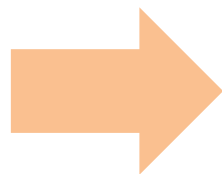
水辺を有する

広大な空間スケール

東京2020大会
競技施設のレガシー



「活力」の
源泉



「躍動感」の
創出

提案の柱

東京発の
アースリバイバル

～ 未来型都市づくりで
地球環境再生を象徴 ～

オンリー湾の
スポーツまちづくり

～ 産業と文化を育み、
新たな価値を創出 ～

提案1：東京発のアースリバイバル

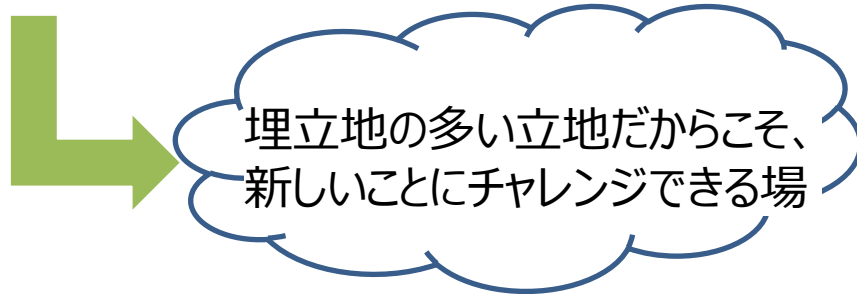
考え方

SDGsを踏まえ、地球環境の再生を象徴する未来型都市としてのリーディングポジションを確立し、国内外に発信

ブランディング①

⇒ベイエリアの立地環境を生かした

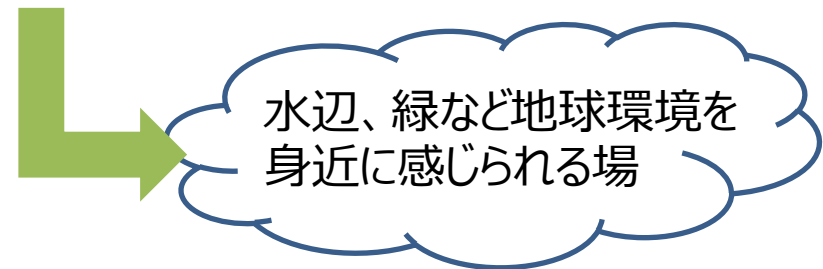
未来志向のエリア



ブランディング②

⇒ベイエリアで過ごす人の

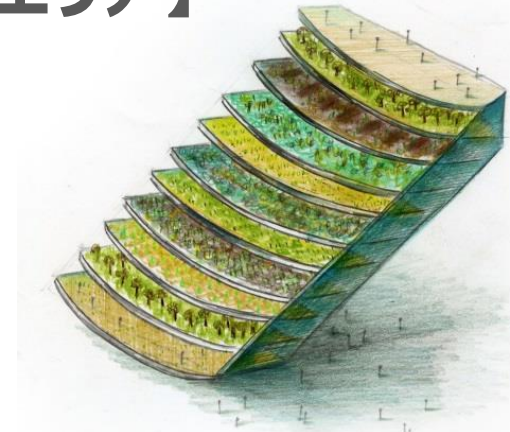
愛着が湧くエリア



提案1：東京発のアースリバイバル

【①環境と食をテーマにした未来志向のエリア】

- ・世界の環境を学習する大きな装置として、世界中の作物が育つ大きな棚田が、エリアのアイコンとなる



世界中の作物が育つ大きな棚田

- ・世界の食文化に触れる飲食店街で、世界中のソウルフードやお酒を楽しむ賑わい空間を創出するとともに、食品ロス削減への意識啓発の場とする



世界中のソウルフードやお酒が
楽しめる飲食店街

提案1：東京発のアースリバイバル

【②水辺空間の魅力を最大限に活用】

- ・都内で海に面した唯一の地域という立地を生かす
- ・豊かな水辺を感じることでできるコンテンツで、エリアの魅力を高める
(例) 水辺のグランピング、
海と関連したアクティビティ、
水上アトリエ、クリエイターの作品を
保管しながら展示する空間 など
- ・海から臨む景観の魅力を高めるとともに、地球環境再生のシンボルとなる巨大な緑が、最先端技術で空に浮かぶ



水辺のグランピング



酸素を生み出す巨大な
緑が空に浮かぶ

提案1：東京発のアースリバイバル

【③愛着やつながりが持てる環境の整備】

- ・ベイエリアに一生涯愛着を持ち、ローカルなつながりを実感できる環境づくりを進める

(例) 緑や花にあふれた霊園

ビクターセンターを整備し、観光やまちの歴史、開発の状況、将来像などを展示する など



緑や花にあふれた
霊園のイメージ

- ・この世にはいない祖先や偉人を最先端技術で再現するなど、グローバルにつながり出会う機会を創出

(例) 過去のスターのホログラムライブ など



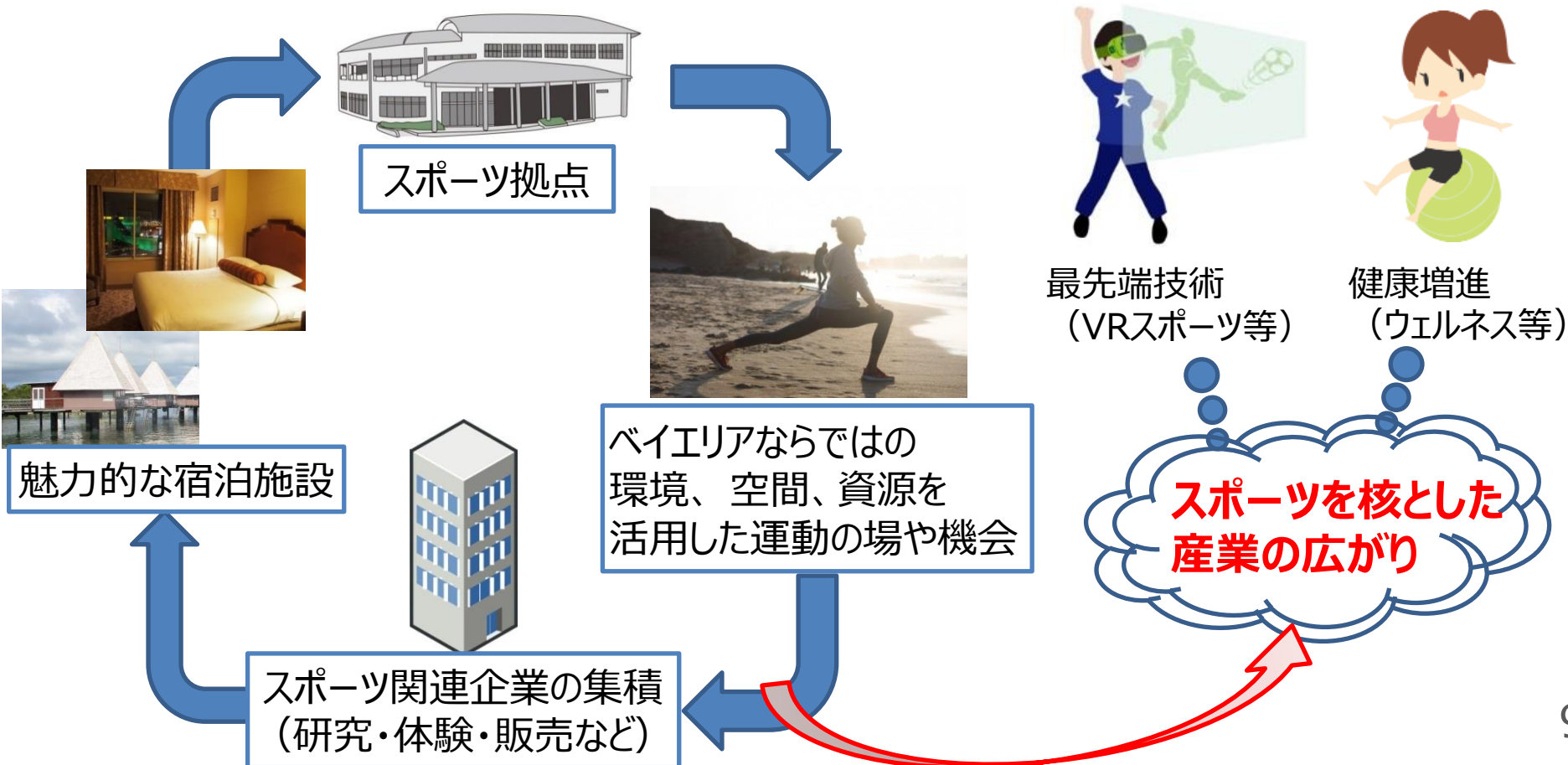
この世にはいない
人との出会い

提案2：オンリー湾のスポーツまちづくり

考え方

オンリー湾の価値を発揮するスポーツコンテンツを
ベイエリアに集積させ、産業と文化を育む

ブランディング①⇒「スポーツ産業の一大拠点」



提案2：オンリー湾のスポーツまちづくり

考え方

オンリー湾の価値を発揮するスポーツコンテンツを
ベイエリアに集積させ、産業と文化を育む

ブランディング②⇒「スポーツ文化が根付いたまち」

Step3

2040年代の目指す姿

Step2

水辺、広大な
空間スケール



Step1



既存空間を活用した
運動の場や機会の創出

ベイエリアの独自性を生かし、
気軽に楽しめるスポーツコンテンツ
を新たに集積させ、スポーツする
文化を醸成



•あらゆる世代が気軽に
運動に親しむことができる
文化が定着
•ウェルネスのまちとしての
ブランドが定着

提案2：オンリーワンスポーツまちづくり

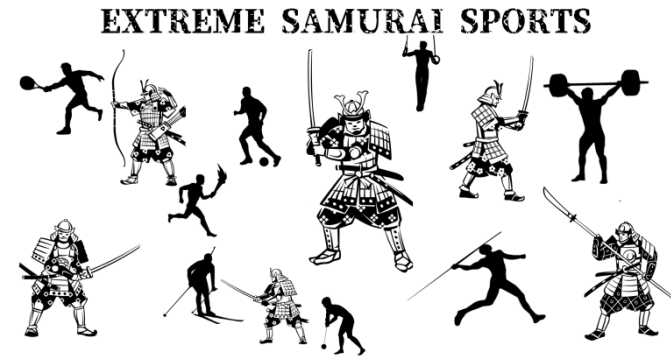
【①エンターテインメント型のスポーツコンテンツを投入】

- ・日本らしさをモチーフとしたエクストリームスポーツを体験できる場を創出し、国内外から多くの来訪者を呼び込む

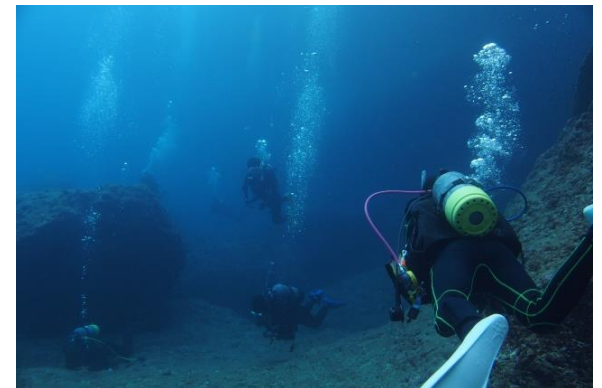
(例) 侍、忍者、城など、和の要素を取り入れたスポーツ、けん玉、レインボーブリッジ綱引き など

- ・エンターテインメント要素のあるミッション志向型スポーツの創出

(例) 環境に配慮した海中スポーツごみ拾いコンテナを利用したかくれんぼやサバイバルゲーム 夏の猛暑日にスポーツ打ち水 など



和の要素を取り入れたスポーツのイメージ



海中スポーツごみ拾いのイメージ

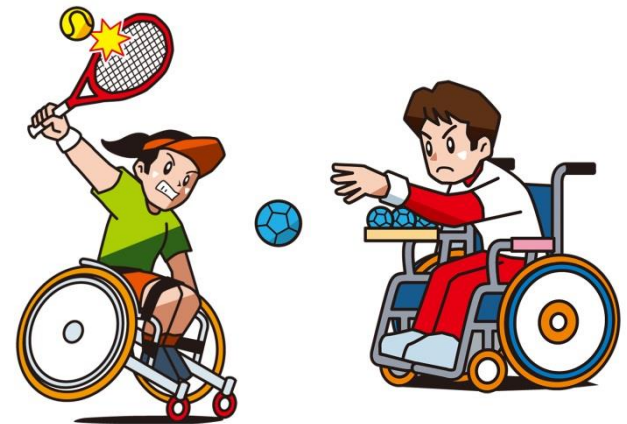
提案2：オンリー湾のスポーツまちづくり

【②世界中のマイノリティスポーツ等をまるごと集積】

- ・知名度は低いが固有の面白さを秘めたマイノリティスポーツ、東京2020大会のレガシーとして世界が注目するアーバンスポーツや障がい者スポーツの活動の聖地とする
- ・競技の奥深さや面白さを発信する一大拠点とし、国内外の大会を通年で開催するなど、認知度の向上と定着を図る



アーバンスポーツの例



障がい者スポーツの例

提案2：オンリー湾のスポーツまちづくり

【③誰でも参加できるユニバーサルスポーツの一大拠点】

- ・ベイエリアの開放的な雰囲気を楽しめるよう、水辺を中心に、気軽に始められるスポーツ（ウォーキングやランニング、サイクリングなど）の場を整備



誰もが気軽にスポーツに親しむ

- ・高齢者が気軽に体験することができるスポーツ環境の整備

(例) スポーツカーのような超高速車いす など

- ・スポーツとデジタル技術を組み合わせ、運動が苦手な人でもゲーム感覚で楽しめる体験型施設を整備



超高速車いす

WGにおける主なアイデア（その他）

- ・バイエリア発のプロスポーツチーム、モータースポーツ等の世界的イベントの誘致
- ・ガントリークレーンや倉庫群等を活用した世界一の産業観光プログラム
- ・世界中の本や知恵が集まる図書館
- ・縁側のようなベンチなど、まちにあるものを利用したコミュニケーションツール
- ・アートやデザイン、ファッション、映画、音楽等のクリエイティブ産業や人材の集積
- ・アニメや伝統芸能と、最先端技術を組み合わせ、グローバルで突き抜けた「和風エクストリーム」を演出
- ・最先端技術の実証実験の場、未来型オフィス、ファクトリーの集積
- ・建築物や公園などの地域資源を一斉公開するイベントの開催
- ・用途制限のある地域の柔軟な土地利用や、公共空間の占用緩和などで、既存の都市空間の再編を促す

エリアの空間イメージ



回遊ルートの整備で線的なネットワーク形成

内海の一休感創出

水域を面的に活用

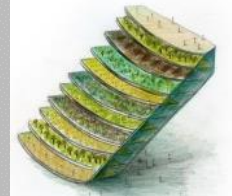
ビジターセンター

レガシーエリアへの展開
↓
スポーツ関連産業の集積
スポーツ文化の定着

多様な空間でマイノリティスポーツ等を集積・発信

世界からのゲートウェイ

A エリアのアイコン



世界中の作物が育つ棚田

B 玄関口に地球環境再生のシンボル



空に浮かぶ巨大な緑

C 愛着やつながりを感じられる場所



緑や花にあふれた霊園

水辺の活用

公園

宿泊施設 (計画含む)

主なランニングコース

東京2020大会競技施設

★ 新設 ▲ 仮設

■ 既設活用